

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	チーム日本競技力向上推進プロジェクト		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	競技スポーツ課長 杉浦 久弘	
事業開始・終了(予定)年度	25年度・未定		担当課室	競技スポーツ課				
会計区分	一般会計		政策・施策名	スポーツの振興 X I-3 我が国の国際競技力の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「スポーツ立国戦略」(平成22年8月26日文部科学省策定)及び「スポーツ基本計画」(平成24年3月30日文部科学省策定)に掲げる目標の一つである「夏季・冬季オリンピック競技大会それぞれにおける過去最多を超えるメダル数の獲得」の実現を図るため、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など多方面から専門的かつ高度な支援等を戦略的・包括的に実施するとともに、女性アスリートのさらなる競技力向上を支援する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>(1)マルチサポートによるトップアスリートの支援 トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発など多方面から専門的かつ高度な支援等を戦略的・包括的に実施するとともに、第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)での競技や試合への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。</p> <p>(2)女性アスリートの育成・支援 ロンドンオリンピック競技大会は、すべての競技で男女種目が実施された初めての大会であるとともに、日本代表選手団の派遣人数においても、男性アスリートよりも女性アスリートが多く占めるなど、近年のスポーツにおける女性の活躍は著しいものがあるが、いまだ女性アスリートは男性アスリートに比べ、支援に恵まれないケースも少なくないため、男女間の機会均等を図り、女性アスリートのさらなる競技力向上を支援する。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				2,767	467	
		繰越し等						
		計				2,767	467	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル獲得数	成果実績	メダル獲得数				夏季:39 冬季:11	
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	(1)マルチサポートによるトップアスリートの支援 ソチオリンピック、リオデジャネイロオリンピックでメダル獲得が期待できるターゲット競技数	活動実績 (当初見込み)	競技数				— (20)	
	(2)ー①女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究 本事業は調査研究を行うもので、その活動実績を数値で表すことができない。	活動実績 (当初見込み)						
	(2)ー②女性競技種目戦略的強化プログラム 各女性競技種目での戦略的強化プログラム作成数	活動実績 (当初見込み)	作成数				— (6)	
	(2)ー③女性特有の課題に対応した支援プログラム 支援プログラムを実施した女性アスリート数	活動実績 (当初見込み)	人数				— (10)	
単位当たりコスト	(1)マルチサポートによるトップアスリートの支援事業1競技当たりのコスト(114,976,100円/1競技)	算出根拠	単位当たりコスト＝平成25年度マルチサポートによるトップアスリートの支援事業委託予算額(2,299,522,000円)／ターゲット競技数(20競技)					
	(2)ー①女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究	算出根拠	—					
	(2)ー②女性競技種目戦略的強化プログラム1競技当たりのコスト(28,711,500円/1プログラム)	算出根拠	単位当たりコスト＝平成25年度女性アスリートの育成・支援事業委託予算額(172,269,000円)／戦略的強化プログラム作成数(6プログラム)					
	(2)ー③女性特有の課題に対応した支援プログラム1競技当たりのコスト(4,669,900円/1人)	算出根拠	単位当たりコスト＝平成25年度女性アスリートの育成・支援事業委託予算額(46,699,000円)／女性アスリート数(10人)					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2百万円						
	職員旅費	1.5百万円						
	委員等旅費	0.01百万円						
	スポーツ振興事業委託費	2,765百万円	467百万円					
	計	2,767百万円	467百万円					

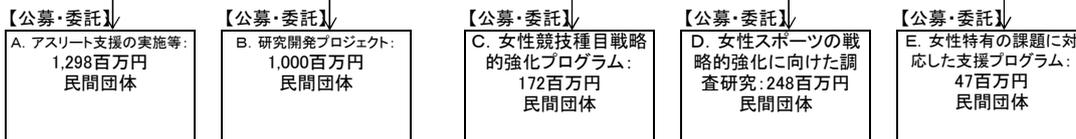
事業所管部局による点検													
	項目	評価	評価に関する説明										
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、スポーツ基本計画の「ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の強化」においてその必要性が明記されており、政策の優先度が極めて高い事業である。また、トップアスリートの活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであるため、国際競技力の向上に資する本事業は、広く国民のニーズがある事業である。なお、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル数の獲得といった成果目標を達成するためには、ナショナルレベルのアスリートを対象に、統括競技団体、中央競技団体及び強化・研究関係機関と連携を図りながら事業を進める必要があることから、国が総合的に推進していく必要がある。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○											
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○											
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—											
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—											
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—											
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—											
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—											
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—											
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—											
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名								
点検結果	事業の実施に当たっては、マルチサポート事業推進会議を開催し、進捗状況、課題、成果を共有するなどにより、本事業の成果目標に沿った適切な執行に努めることとしている。												
外部有識者の所見													
外部有識者による点検対象外													
行政事業レビュー推進チームの所見													
本事業は、現時点で執行面における課題も生じていない。また、一部の調査研究で成果目標及び活動指針が立てられないが、概ね成果目標及び活動指針が立てられていることから、適切な事業と認められる。引き続き迅速かつ適切な予算執行に努めること。													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
—													
備考													
スポーツ基本計画について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm 「マルチサポート事業」ターゲット競技種目の指定について： http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/04/1330534.htm													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
	平成22年		平成23年										
				平成24年									

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省 2,767百万円

諸謝金、職員旅費、委員等旅費
2百万円含む

トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、多方面から専門的かつ高度な支援等を戦略的・包括的に実施するとともに、女性アスリートの国際競技力を向上するためのプログラム等を実施する。



【マルチサポートによるトップアスリートの支援(アスリート支援の実施等)】

強化合宿や競技大会における動作分析、ゲーム分析、情報収集、栄養サポート、コンディショニングサポート、心理サポートなど、各分野の専門スタッフが、スポーツ医・科学、情報を活用して、トップアスリートが試合に勝つために必要なサポートを実施。

また、第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)での競技や試合への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置。

【マルチサポートによるトップアスリートの支援(研究開発プロジェクト)】

日本の科学技術を活かして、オリンピック選手専用(テーラーメイド型)の競技用具やウェア、シューズ、日本人の弱点を強化するための専用トレーニング器具、コンディショニング、リハビリ方法の研究開発等を実施。

【女性アスリートの育成・支援(女性競技種目戦略的強化プログラム)】

基礎的運動能力が高いシニアアスリートの実践的な育成・強化プランを策定し、戦略的プログラムを通じて女性競技種目の競技力向上を図る。

【女性アスリートの育成・支援(女性スポーツの戦略的強化に向けた調査研究)】

女性アスリートの戦略的強化を図るため、国内外の女性スポーツに関する情報の収集やデータベース化等を行うとともに、女性スポーツの身体的・多角的な調査研究等を実施。

【女性アスリートの育成・支援(女性特有の課題に対応した支援プログラム)】

女性特有の課題に対応するため、①女性の発育・発達における医・科学サポート、②妊娠前、産前、産後、子育て期のトレーニングサポート、③女性特有の疾患・障害、疾病等における医学的なサポートなど、女性アスリートの総合的な支援を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

A.アスリート支援の実施等			E.女性特有の課題に対応した支援プログラム		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	サポートスタッフ、事務スタッフ賃金	358	旅費	諸外国状況調査(イギリス、ノルウェー、オーストラリア、カナダ)旅費	16
旅費	サポートスタッフ、事前調査、長期滞在スタッフ、交代体制スタッフ旅費	304	諸謝金	サポートスタッフ	13
借料及び損料	複合機、PC、サポート活動レンタカー、マルチサポートハウス、複合機、プリンター、AV機器等借料	218	賃金	統括研究員、研究員賃金	11
雑役務費	会場設営費、リカバリーミール、ゼリー飲料等補食、セキュリティ業務委託、映像サポート環境構築	142	借料及び損料	スタッフ用PCリース、複合機リース	3
備品費	トレーニング用機器、サポート機器、スキー板メンテナンス用作業台等	94	その他	備品費、消耗品費	1
消耗品費	消耗品	41	一般管理費	上記経費の10%	3
その他	サポート活動用携帯電話通話料、インターネット通信料、機材・食材等輸送費等	23			
一般管理費	上記経費の10%	118			
計		1,298	計		47
B.研究開発プロジェクト			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備品費	研究開発用機器	315			
賃金	研究スタッフ、研究補助スタッフ、事務スタッフ	305			
雑役務費	制作・加工・テスト経費	157			
旅費	研究スタッフ、研究補助スタッフ、被験者旅費	76			
消耗品費	消耗品	22			
借料及び損料	スタッフ用PCリース、複合機リース	19			
諸謝金	被験者謝金	15			
一般管理費	上記経費の10%	91			
計		1,000	計		0
C.女性競技種目戦略的強化プログラム			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	統括責任者、プログラムマネージャー、トリアルアスリート、事務スタッフ賃金	126			
旅費	統括責任者、プログラムマネージャー、トリアルアスリート旅費	20			
借料及び損料	アパートメント借り上げ、スタッフ用PC、複合機リース	10			
消耗品費	消耗品	0.1			
一般管理費	上記経費の10%	16			
計		172	計		0
D.女性スポーツの戦略的強化に向けた調査研究			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	研究スタッフ、事務スタッフ賃金	26			
備品費	研究備品	5			
借料及び損料	スタッフ用PC、複合機リース	3			
旅費	研究スタッフ、事務スタッフ旅費	2			
消耗品費	消耗品	1			
一般管理費	上記経費の10%	4			
計		41	計		0

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					